

「福岡国際医療福祉大学(仮称)」の構想

基本理念

福岡国際医療福祉大学は、「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指します。

教育目標

- ①医療福祉の高度化・専門化に対応できるとともに、それぞれの分野で指導者となりうる人材を育成します。
- ②優れた人間性を兼ね備え「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材を育成します。
- ③国内はもとより海外の医療協力でも活躍できる総合的な臨床能力をもった人材を育成します。

教育の特長

- ①「チーム医療・チームケア」を在学中に実践します
「チーム医療・チームケア」の考え方や必用なスキルを身につけ、国内のみならず海外でも貢献できることを見据えた本学独自のプログラムである「関連職種連携教育」を1年次から段階的に実施します。
- ②海外研修プログラムを通じて国際的な視野を養成します
国際貢献できる医療福祉専門職の養成のため、総合教育科目の「海外保健福祉事情」では、約2週間の海外研修を実施。異文化や海外の医療福祉の実情に触れるとともに、現地の学生との交流を通じて国際的な視野を身に付けます。
- ③充実したICT環境とアクティブラーニングを導入します
デジタル教材やタブレットを用いた三次元アプリを使用し、専門的な知識の確実な理解を促します。さらにアクティブラーニングの実践により、高度な知識はもちろん、医療の現場に必用な問題解決能力や社会的能力を育てます。
- ④充実した語学教育で国際的なコミュニケーション能力を高めます。
他の医療系の大学に比べて充実した語学教育の環境を整備します。少人数によるクラス編成のもと、ネイティブを中心とした講師による、英語、中国語、韓国語など数カ国の外国語の授業を行い、国際的なコミュニケーション能力を高めます。
- ⑤卒業研究に取り組み、研究手法の基本を学びます
教員のサポートのもと、関心の高いテーマについて自由に研究に取り組みます。それぞれの学生は研究の方法について理解を深めながら、国内外へ向けて情報の発信ができることを目標に、専門性を高める機会とします。
- ⑥ゼミナール制を導入するなど少人数を活かした学修支援環境を整えます。
ゼミナール制を全学科で取り入れるほか、1年から4年までの全学年の学生で構成された少人数グループを設け、学年の枠を超えた先輩と後輩の交流も重視するなど、きめ細かな学修支援環境を整えます。

⑦豊富なグループ関連施設で充実した臨床実習を行います。

大学に隣接する福岡山王病院をはじめ、福岡県大川市の高木病院、柳川市の柳川リハビリテーション病院、介護老人保健施設「水郷苑」、柳川療育センターなどの数多くのグループ関連医療福祉施設と緊密に連携しながら、先進の教育・研究と充実した臨床実習を行います。どの施設にも最新の医療機器が整備されており、先進の技術を修得することが可能です。

【想定される実習施設】

・福岡山王病院

病床数：199床（全床一般病床）

福岡山王病院は、今回予定している新大学に隣接した病院です。21世紀の先端医療を担う病院として2009年に福岡市早良区の「シーサイドもち」に開院しました。地域の方々の健康をお守りするため、地域の医療機関との連携を大切にするとともに、アジアの玄関口・福岡市にふさわしい世界に目を向けた病院づくりを積極的にすすめています。リハビリテーション分野においても、30名以上のリハビリスタッフが在籍し、急性期から維持期に至るまで、福岡市でも屈指の手厚いチーム体制を整えています。

・高木病院

病床数：506床（一般329床、障害者施設等病床83床、療養病80床、ICU6床、HCU8床）

1910年の高木眼科医院を発祥とし、100年以上の歴史を持っている病院であり、グループ発祥の病院です。地域の基幹病院として、プライマリ・ケアから高度先進医療、救急医療、さらには在宅医療、予防医学に至るまで、専門性に基づく質の高い医療と、心安らぐ環境を皆様に提供することを目標としています。急性期リハビリテーションに特化したリハビリスペースを広く設けるなど、救急搬送・治療・回復までの受け入れ体制を強化しております。また、国際医療福祉大学・大学院の臨床医学研究センターとしての役割を担っており、学生の実習はもとより学術面においても力を入れております。

・柳川リハビリテーション病院

病床数：240床（一般120床、療養120床）

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士100数名が在籍する、西日本屈指の人員と規模を誇るリハビリテーション専門病院です。実生活に即した訓練を行うため、敷地内には砂利道、坂道、階段などを巧みに配置した庭園を有しています。さらに、隣接地にはリハビリテーション専門職の養成校「柳川リハビリテーション学院」、介護老人保健施設「水郷苑」、在宅サービスを提供する「有明総合ケアセンター」を併設しており、医療・福祉・教育を総合的に提供する環境を整えています。他の施設にない充実した診療体制をつくりあげています。

- ・みずま高邦会病院

病床数：120床（全床療養病床）

加齢により身体機能が低下した方の治療と、機能回復訓練を専門とする一方で、自宅で療養されている方とそのご家族に対する支援の機能も備えた総合施設です。超高齢社会の医療福祉を担う人材の育成にも力を注いでいます。

- ・柳川療育センター

病床数：入所110名、短期入所10名

適切なリハビリテーション医療を受ける機会がほとんど無かった、柳川地域の脳性麻痺や知的障害を持つ子ども達のために1998年に開設したのが柳川療育センターです。

2016年に新・柳川療育センターを開設し、その規模を大幅に拡大しました。専門の医師やスタッフの増員、検査・医療機器や設備の充実を図ることで、リハビリテーション分野の更なる強化を図るとともに、多機能を有する施設となっています。より専門性の高い治療を求められる発達障害分野の研究を行う、国際医療福祉大学の研究施設「神経発達症研究センター」も併設をしています。